

第41回

日本精神科看護学術集会

in 岩手

一般演題 B（ワークショップ・交流セミナー）

⑦家族支援の新たな風—英国メリデン版訪問家族支援から私たちが学ぶこと—

6月12日（日）9：00～11：10 第3会場

小松容子（宮城大学看護学部）

佐藤 純（京都ノートルダム女子大学）

長江美代子（日本福祉大学看護学部）

吉野賀寿美（医療法人社団五陵会病院）

メリデン版訪問家族支援は、英国・バーミンガムのNHS 精神保健部門で開発された、精神疾患を抱える当事者とその家族に対する家族支援（ファミリー・ワーク）です。行動療法的家族療法を基盤にした、訪問型の家族支援による効果は、研究によって実証されており、現在は英国だけでなく、カナダ、オーストラリア、シンガポール、ウガンダ、ポルトガルなど、メリデン版訪問家族支援は世界に広がりつつあります。今回は、このメリデン版訪問家族支援の概要と本質について一緒に学び、日々の実践の中で、家族支援を行う際の問題や課題について討議します。前半は、メリデン版訪問家族支援についてのミニ講義・ミニ報告を行い、後半は、家族支援が実践・提供されるために必要なことについてグループで共に話し合う機会にしたいと思います。

